

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年12月 4日更新

事務事業名		夏祭り実施事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部	課長名	坂本政誠
	施策	14 市民参画によるまちづくりの推進				所属課	まちづくり戦略室	担当者名	太田徹
	基本事業	42 地域づくり(まちづくり)活動機会の確保				所属班	戦略班	(内線)	1233
予算科目		会計一般	款2	項1	目9	事業連番11556	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ②	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成23年度に合併5周年記念事業として合志市夏祭りを開催し、平成25年度からは開催時期を移し、秋に行うこととしている。イベントは、市民参画・参加・体験による「合志市の祭り」として定着するように実施していくもの。平成25年度からは、業者選定にプロポーザル方式を採用し、決定している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	1. 実行委員会設置 2. 補助金申請 3. 補助金支出 4. 会議の開催 5. 業者の選定 6. 祭りの実施 7. 補助金精算 8. 実績報告
【主な予算費目】	19. 補助金(合志市祭り実行委員会への補助金)
【意見や要望】	合志市事業仕分けにおいて、主催者・時期・予算・実施方法・内容について再検討を行うよう意見があっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
夏祭り実行委員会の企画・立案から運営までの事務、夏祭り実行委員会への補助金支出		祭り実行委員会の企画・立案から運営までの事務、祭り実行委員会への補助金支出	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 夏祭り実行委員会開催回数	回		
イ 夏祭り実行委員会補助金	円		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民及び市外からの観光客	人	→ ア 夏祭りへの参加者数	
		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
合志市の祭りとして市民が誇れる、楽しめる	件	→ ア 夏祭りへの不満などの意見数	
		→ イ	
* ③ 成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
市民に喜ばれる祭りとして良い評価が得られるかを指標とした。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
① 活動指標	ア回		0	5	5	5	5	5	5	5	
	イ円		0	4,929,356	10,000,000	6,973,815	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	
② 対象指標	ア人		0	12,000	22,000	25,000	22,000	22,000	22,000	22,000	
	イ										
③ 成果指標	ア件		0	4	7	5	7	7	7	7	
	イ										
投資 事業 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		1,304						
		繰入金	千円								
		一般財源	千円		3,625	10,000	6,974	10,000	10,000	10,000	10,000
	(A) 事業費計	千円	0	4,929	10,000	6,974	10,000	10,000	10,000	10,000	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件 費	正規職員従事人数	人	5	5	5	45	5	5	5	
		延べ業務時間	時間	1,150	2,300	2,300	2,874	2,300	2,300	2,300	2,300
		(B)人件費計	千円	4,738	9,287	9,287	11,700	9,287	9,287	9,287	9,287
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,738	14,216	19,287	18,674	19,287	19,287	19,287	19,287	

事務事業名	夏祭り実施事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	---------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 平成23年度に実施し好評だったレーザー花火を平成24年度も実施したため、予想以上の来場者（約倍増）となった。また、夕方に集中する来場者からの苦情も予想より少なかった。開催時期が夏季であるため、当日は夕立による天候の影響も受けたが、イベントスケジュールを全て実施することができた。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 運営については、前年度から同様「合志市祭り実行委員会」が行う。業者選定については、業者の企画提案内容を比較・決定するプロポーザル方式を採用するため、実行委員会が「合志市の祭り」として相応しい企画を選定することで、目標を達成する見込みはある。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 今まで以上に様々な情報提供手段を活用し、市内外からの参加をアピール行うことは勿論のこと、地元団体や関係自治体・企業・大学・NPOなどの協力を得ながら「合志（こうし）市」を発信し、人と人、モノとモノを交流させることで、この事業を向上させることができる。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 合志市全体の祭りであるため、類似事業はない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 実施主体を民間団体等へ移行させることで、経費削減を図ることができるが、10,000人以上のイベントとなると、現経費相当の金額は必要となる。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 上記同様、実施主体を民間団体等へ移行させることで、人件費を削減させることができるが、市で実施する場合は数年間からの実績上最小限の事務で行っているため削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 全市民を対象とした取り組みであるため公平である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 「合志市の祭り」については、市内外の交流事業として必要性はある。しかし、今後は費用対効果も十分考慮しながら、行政で運営すべきが見直す必要がある。	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成23年度に実施したレーザー花火の好評もあり、同様に実施した平成24年度は事務局が予想したよりも多くの来場者があった。しかし、例年夏季に実施しており、夕立など天候の影響も受けやすいことから、時期と実施方法については再検討する必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																								
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善（有効性改善） ☒ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																												
実施時期・実施方法については、平成24年度までの実績・意見などを踏まえ、平成25年度より秋に実施することとした。また、イベント内容についても、業者からの企画提案を審査するプロポーザル方式を採用して、客観的に合志市を見てもらい「合志市らしさ」を発信できるイベントを企画提案してもらったこととした。				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
						コスト																						
						削減	維持	増加																				
				成果	向上		○																					
維持																												
低下																												

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

祭りが長く地域に愛され、根付くためには行政が行う手法（実施方法・担当者の変更・単発的なイベントなど）では難しいのが現状である。やはり、地域・企業・団体・行政などが一体となって行うことが、本来の「祭り」の姿になるものだと思う。今後は、祭りなどを担うことが出来る団体の育成が課題となる。